

各 位

浦安鐵鋼団地協同組合
景況実感調査委員会

浦安鐵鋼団地景況実感調査結果表
(2024年9月分)

ご協力ありがとうございました。2024年9月分の結果をお送りいたします。よろしくご査収ください。

調査対象 143 回答 138 回答率 96.5%

調査項目	前 年 同 月 比					計
	10%以上 増加・上昇・好況	やや 増加・上昇・好況	横這い・平常	やや 減少・下降・不況	10%以上 減少・下降・不況	
売上数量	13社	17社	45社	34社	29社	138社
	9.4%	12.3%	32.6%	24.6%	21.0%	
	(7.5)	(5.2)	(29.1)	(31.3)	(26.9)	
売上高	12社	21社	44社	36社	25社	138社
	8.7%	15.2%	31.9%	26.1%	18.1%	
	(7.5)	(5.2)	(24.6)	(33.6)	(29.1)	
在庫数量	11社	26社	58社	29社	8社	132社
	8.3%	19.7%	43.9%	22.0%	6.1%	
	(7.0)	(15.6)	(53.9)	(16.4)	(7.0)	
販売単価	7社	28社	71社	25社	6社	137社
	5.1%	20.4%	51.8%	18.2%	4.4%	
	(4.5)	(17.3)	(51.1)	(25.6)	(1.5)	
収益状況 (粗利)	10社	24社	45社	40社	19社	138社
	7.2%	17.4%	32.6%	29.0%	13.8%	
	(3.0)	(14.2)	(29.9)	(34.3)	(18.7)	
稼働率 (生産・加工設備)	3社	12社	57社	33社	15社	120社
	2.5%	10.0%	47.5%	27.5%	12.5%	
	(1.7)	(7.8)	(36.5)	(37.4)	(16.5)	
入出庫の トラック台数	4社	11社	60社	45社	14社	134社
	3.0%	8.2%	44.8%	33.6%	10.4%	
	(0.8)	(3.8)	(38.9)	(41.2)	(15.3)	
現在の 景況感	1社	9社	46社	54社	27社	137社
	0.7%	6.6%	33.6%	39.4%	19.7%	
	(0.0)	(3.8)	(28.6)	(45.9)	(21.8)	
3ヶ月後の 景況予測	1社	12社	84社	32社	7社	136社
	0.7%	8.8%	61.8%	23.5%	5.1%	
	(0.0)	(14.3)	(63.2)	(17.3)	(5.3)	
特記事項						

- 注 ①調査対象会社数は浦安に事業所の無い会社（不在地主など）は除外してあります
②()内の数字は前月のパーセントです
③結果表は全品種の動向として集計し、品種別の要因を取り上げる必要がある場合は
特記事項欄に別途記載いたします
④本調査の宛先等の変更は、浦安鐵鋼団地協同組合事務局までご連絡ください
事務局 TEL : 047-350-5311 FAX : 047-350-5316

景況実感調査(2024年9月)特記事項

毎月、景況実感調査にご協力頂きましてありがとうございます。集計結果は別紙にてお送りしましたが、今月もたくさんのコメントを頂きましたのでお送りします。ご査収下さい。

【お断り】寄せられたコメントは、各社担当者の現場の声です。個々の会社固有の状況にもとづくものも多々あります。業界全体及び浦安鉄鋼団地全体の見解とは必ずしも一致しませんので、お含み置きます。また、不穏当な表現やわかりにくい表現については書き直しております。信用問題にかかわるものも原則として掲載しておりません。

薄板・表面処理鋼板

- ① いわゆる9月半期のような動きは見られず、在庫の大きな変動はなかったように感じる。スクラップも日々下がり、販価にもじわじわと影響が出ている。中国相場も気になるところだ。
- ② 需要低迷の継続により販売量は低調だが、9月に限っては受注構成でフォーミングが多少増えたことにより収益が好転した。安価な輸入材増、電炉メーカーの値下げにより今後、市況ダウンが予想され、販売環境はより厳しくなる模様。
- ③ 輸入材や東鉄の値下げで市況は弱含みになっているが、表面処理鋼板の市況品種は東鉄で製造していないので関係ない。価格を下げて量が増える訳ではないので安売りはしない。
- ④ 9月は前年比微増となり、対前年比増の月が徐々に増えてきており、自動車関連は景気の踊り場を抜けて持ち直しの動きがみられる。まだまだ自動車以外の国内需要は人手不足の影響もあり今ひとつだが、下期はアメリカの大統領選があるので、需要回復を期待したい。
- ⑤ トヨタ集購と東鉄の▲15が今後の相場下落に影響を与える中で、手持ち在庫の処分と採算に苦戦すると思われる。需要も乏しい中で値下げ合戦にはなりたくないし、したくない。与信のアンテナも張っておく必要がある。

中板

- ① 中板においては目先の需要に大きな動きは見えず、各社とも当用買いに徹しており、低調で推移。価格面はここまで弱含みの状況が続いているが、大手電炉メーカーの大幅値下げ発表以降は更なる下落が予想される。

厚板

- ① 8月は長期休暇の影響もあり仕事量が少なかったが、9月に入っても状況は変わらず、全体的に盛り上がり欠けている。東鉄の大幅な値下げにより町工場の価格や売り方に今後影響が出るのが懸念される。極厚鋼板を使用する橋梁免震関係では、在庫などの更なる打ち合わせが必要となる。
- ② <全体感>厚板需要は相変わらず低位横這いで推移しており、需要に盛り上がりはない。9月に入り、スクラップ価格の急落、東鉄の大幅値下げと、販売面での懸念要因も出始めていることに加え、需要も低いことで在庫も高位のままであり、先行き不透明感は強い。<分野別>建設機械は夏季休暇の関係もあり大幅な生産調整が行われたが、足元は徐々に回復基調となる。それでも昨年のような高い水準までには程遠く、本格的な回復までは時間がかかると思われる。産業機械も同様、慢性的な需要低迷により稼働率は低く、建設機械と同様にしばらく時間を要すると思われる。店売りも然り。切板需要が少ないことと、東鉄値下げの影響への懸念もあり、荷動きは悪い。

- ③ 建設機械は減産が顕著になり、売上も減少。店売り関連も 8 月頃から見積もりも売上も減少している。
- ④ 上田日銀ショック、東鉄大幅値下げによる東鉄ショックによって、今後の荷動きは見通せない。東鉄離れが急速に進んでいる。

— 舟安开形鋼岡 ・ HI 开形鋼岡

- ① 前年同月比調査項目は総じて 10%以上の減少。前月 8 月比、営業日数は 2 日増なのに調査項目は総じて横這いで、秋需どころか 10 月、11 月の売上を心配しなければならぬ始末。東鉄の値下げ発表はあく抜けにならず、同業者間の販売競争を煽るだけだ。
- ② 中国の景気に左右されてしまう。鉄鋼需給バランスの悪化。人手不足によって再開発等が遅れている。
- ③ 某メーカーの大幅値下げ発表により H 形鋼を在庫している特約店は戸惑っている。市況は軟化しつつある。秋需に期待。
- ④ 需要実態に合った仕入れに徹する。

異形棒鋼

- ① 前年より売上は増加したが荷動きの回復感はない。東鉄の値下げ発表の影響で、10 月より販売価格を改定したが、更なる採算悪化が懸念される。
- ② 先物の受注は良くないと聞く。直近の店売りは低位ではあるが、この一年では一番良い。

平鋼

- ① ここに来て好調だった加工分野も停滞感が出始めてきた。秋需も期待できず、小ロット物を大事に受注していくしかない。店売り販売価格も下げ相場に入りつつあり、流通口銭が確保できないままで、踏ん張りどころか。

車量量形鋼

- ① 生産量、売上ともに横這い。年末まで期待できない。
- ② 8 月が悪すぎたので 9 月は増加したが、良くはない。

鋼管

- ① 出荷数量は 7~8 月に比べれば増加傾向にあるが、昨年と同様に下期の需要に期待感はない。
- ② 上半期のメの月及び夏休み明けで、大手問屋からの“引合い増”は期待外れで、概して荷動きが悪い 1 か月であった。首都圏の大型物件は動き出しているが、中小口物件の動きが鈍く、大手問屋の倉入れが伸びない。

構造用鋼

- ① 需要については、自動車関連で認証不正問題の影響が尾を引いており停滞。建機は需要減による在庫増で調整。産機、工作機械は海外需要減の影響を受けている。店売りは依然として低調のまま。店売り在庫は出荷が振るわずやや多め。価格は現状横這いで推移。

磨き棒鋼

- ① 自動車、建機向け紐付き品は引き続き調整局面。回復の兆しも無く、今年度中は現状のままと思われる。店売り品は低位で推移。明るい話も無く、静かに状況を見守るのみ。

その他

<異形バーインコイル・ナマシ鉄線>

- ① 諸々のコストアップによる値上げについて価格転嫁を進めているがスクラップ安、安価な輸入材の入着等の影響で難しい状況。荷動きも悪く、明るい兆しが見えない。

<敷鉄板リース>

- ① 下期に入り敷鉄板リースの稼働率は徐々に上昇してきている。今後、公共土木案件の増加に伴い、更に上昇していくことを期待している。

<鉄スクラップ>

- ① 7月より下落したスクラップ相場は9月に入り暴落した。下げ要因はメーカーの減産に伴うスクラップ購入意欲の低下、為替も不安定で海外からのオファーも取れないなど。マイナス要因しかなかった。ただ、今までの日本のスクラップが高値過ぎたので、ここまで下がって適正価格に戻った印象もある。それ故に、底値も見えてきたので10月から海外からの引合いも出てくれば下落は止まる可能性あり。しかし、国内、海外ともに依然として停滞しているのでまだまだ期待はできない。

<金属表面処理>

- ① 紐付きスポット共に順調。一部の塗料メーカーから更なる値上げアナウンスあり。